

スワンネット解説 室蘭市医師会 前田副会長

主催：北海道医師会、北海道
後援：北海道市長会、北海道



スワンネットを説明する前田副会長

道経連IoTセミナー

【札幌】北海道経済連合会(高橋賢友会長)主催のIoTセミナーが13日、札幌市内で開かれ、室蘭市医師会の前田征洋副会長(製鉄記念室蘭病院長)が具体的

な事例として4月から本格稼働した地域医療介護情報ネットワーク・スワンネットを説明した。スワンネットは、西胆振管内の病院や診療所(かか

りつけ医)、歯科、薬局、介護事業所などを結んで情報連携基盤を構築するシステム。前田副会長は「患者登録してあれば、どのような医療行為が行われたか一覧で瞬時に分かる。クラウドなので大災害にも強い。クラウド型EHR(医療情報連携基盤)は地域包括ケアなど地域に不可欠な社会インフラ」と語った。

その上で「今後は医療と介護情報を統合するネットワークが求められ、既存のEHRはクラウド型・双方向への高度化が必要。スワンネットは先進的な取り組みを始めている。複数のEHRを連携させ広域化を考えるべき」と述べた。

セミナーは、道内におけるIoT(物のインターネット)の認識や理解を深めるのを目的に開催。前田副会長のほか、総務省北海道通信局長、NTT東日本北海道事業部長、日立製作所北海道支社長も講演した。

(有田太一郎)